

ゆうほ

なあなあ、ちょっと遊歩せーへん？



ゆうほ ひゃくせん えら ちいさ くるま ゆうほ
～遊歩百選 で選ばれた地域は車 イスでも遊歩(=目的もなく、フワフワすること)できるのか！？～

ウィキペディアより～遊歩百選 とは、読売新聞が50年記念事業として2002年に呼び掛けを
おこな しみん さんか とうひょう せんこういんかい せんてい ふこうめいび ぼどう ちいさ
行い、市民参加による投票 と選考委員会により選定された風光明媚な歩道などのある地域
ひゃくせん
百選のこと。



かみまちだいちきた

上町台地北

ウィキペディアより～上町台地とは、大阪城付近、
てんまほし あた びんがみ てんのうじ ぬ おおさかしない ちいさ
天満橋の辺りから南 の天王寺へ抜ける大阪市内の
だいち
台地である。

ちょうさび ねん がつ にち
○調査日：2010年6月28日

てんまほししゅうしやうへん 天満橋駅周辺



歩道上に点字ブロックがありましたよ!(^^)!



おっと、歩道橋や、でも階段しかないやん！これじゃあ渡れないよ。

おおさかじょうこうえん 大阪城公園



わーい、天守閣だ！、あそこまで行けるかな？



ありや、階段や！



これじゃあ、行けないよ～、シクシク(T_T)



うわっ、こっちはすごい坂だ！



なまつくりぐち ほつ くるま
←玉造 口の方からなら車 イスでも
行けるみたいだけど、遠回りだし、
帰ろう・・・

あすかむらいったい

明日香村一帯

(園営飛鳥歴史公園)

ウィキペディアより～明日香村は、奈良県の中央部に位置する村。中央 集権 律令 国家の誕生の地である事から飛鳥時代の宮殿 や史跡が多く発掘されている事で知られ、「日本の心の故郷」とも紹介 される。

○調査日：2010年7月5日



猿石に向かう通路に杭が・・・これじゃあ車イスでは行けない(T_T)



猿石の隣にある欽明天皇陵。スロープらしきものがあるけど、ガタガタだったよ

しょうがないので、スタッフだけが行って写真をパチリ



高松塚周辺地区



飛鳥歴史公園館。入り口までスロープがあるよ



館内に明日香村の模型があるけど車イスの高さでも見られる



車イストイレがあったよ



公園内の道もきれいに整備されていたよ



公園内にも車イストイレがあったよ



高松塚古墳でパチリ



鬼の雪隠。道沿いにあり、下りるには結構急な坂だよ。



鬼のまた板に行くには階段で厳し～い



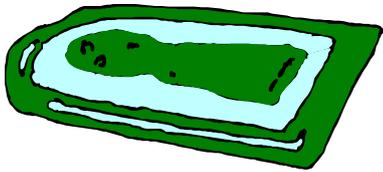
のどかな道でまさに遊歩! だよ!(^^)!



もずこふんぐん

百舌島古墳群エリア

調査日：2010年7月26日



百舌島古墳群は大阪府堺市にある古墳の集まりをいう。古市古墳群とともに、巨大な前方後円墳を擁する古墳群として知られる。4世紀末ないし5世紀初頭から6世紀後半頃に築造された古墳が分布する。大仙陵古墳（伝仁徳天皇陵）、ミサンザイ古墳など、墳丘長200m以上の大型の前方後円墳3基を含む。かつて100基以上の古墳があったとされるが、第二次大戦後に宅地開発が急速に進んだため、約半数近くの古墳が破壊され、現存するのはわずか50基に満たない。2008年9月26日、仁徳天皇陵を含む百舌島古墳群・古市古墳群が世界遺産の国内暫定リストに追加された。



JR百舌鳥駅から仁徳陵に向かう道。その途中、仁徳陵の近くに車イストイレがありました。

道は整備されています。今回、ガイドのボランティアさんが案内してくれました。

墳丘長486mの前方後円墳。日本最大の古墳であり、エジプトのピラミッド、中国の秦始皇陵とともに世界三大墳墓の一つに数えられるほか、北側の反正陵古墳、南側の履中陵古墳と合わせて百舌鳥三陵と呼ばれている。後円部に長持形石棺、前方部に長持形石棺を納めた堅穴式石槨がある。前方部施設では副葬品として金銅装の甲冑などが確認されており、この甲冑を描いた図は堺市指定有形文化財ともなっている。三重の周濠をもつ。5世紀中頃。総面積：464,123㎡。



仁徳天皇古墳



孫太夫山古墳

1 墳丘長56mの前方後円墳で前方部の短い帆立貝形を呈する。仁徳陵古墳の外周にあり、階塚として宮内庁が管理。5世紀中～後半。



電佐山古墳



一墳丘長67mの前方後円墳。仁徳陵古墳の外周にあり、階塚として宮内庁が管理。5世紀中～後半



どちらの古墳も近くまで行けるよ

孫太夫山古墳&電佐山古墳は大仙公園の中にあり、大仙公園内に車イストイレはあります。百舌島古墳群は43ほど古墳がありますので、全部廻るのは大変だけど、皆さんも一度訪れてみては？。でも地上から見たら木が生い茂ってるだけって感じなんで、ホントは空から見られたらいいんですけどね・・・



きゅうきよりゅうち はな かいろう こうべ

旧居留地と花の回廊 (神戸)

ちょうさび ねん がつ か
○調査日：2010年8月2日



こうべはなどけい まえ
神戸花時計の前でパチリ。



ウィキペディアより～旧居留地とは、かつて主に安政の五カ国条約により外国の治外法権が及んでいたことのある区域を指す。神戸の旧居留地は、北は西国街道、東は旧生田川（現在のフラワーロード）、西は鮎川（現在の鮎川筋）、南は海に囲まれた周囲と隔絶されていた地区で、そこにイギリス人技師J.W.ハートが居留地（神戸外国人居留地）の設計を行い、整然とした西洋の街を造り上げた。その後、東西の川は移設（付け替え）や暗渠化によって道路となったが、現在も道路を越えると街の雰囲気が一変する。



フラワーロードには小さめの花や緑がいっぱい。



こうべ しやくしょ ごうかん かい かりようてんぼうだい
神戸市役所 1号館24階に無料展望台があるよ。上から居留地を見学！もちろん市役所内に車イストイレはあるよ。



だんき
段差があるよ



こうべし りつはくぶつかん い ぐち
↑神戸市立博物館。入り口までスロープがあったよ、休みだったので館内には入ってないけど・・・



ほどう ひろ てんじ
ここの歩道は広く、点字ブロックもあったよ。



きゅうきよりゅうち たてもの
旧居留地はレトロな建物がいっぱい。でもレトロなだけに段差がある建物もあるよ。なんかやっぱ神戸っておしゃれですね (by みっちー)